

1984年7月生まれ。みずほ保育園・栗田幼稚園・栗田小学校・栗田中学校・宮津高校を経て、近畿大学法学部卒。卒業後、(株)リクルート入社。長野支社にて、2名の農業法人から上場企業まで、幅広い企業の人材採用・組織活性化のお手伝いを行う。その後、「じゃらん」へ異動し、奈良県・和歌山県を担当する営業チームのリーダーとして、地域活性化と観光振興の仕事に専念。現在は宮津市の将来のために、政治活動に力を注ぐ。

なかしま たけふみ  
**中島大文** 29歳  
(無所属)

私たちの「宮津」を誰もが、  
住みたい、行ってみたいと  
想える街に。

Action for MIYAZU 討議資料vol.1

市内どこへもお伺いします。ご連絡は電話・メール・お手紙で。



Web サイトや Facebook で日々の活動状況をアップしています。  
活動や政策などの詳細は Web サイトにアップしていきます。ぜひご覧ください。  
Facebook もやっています。お気軽に「友達申請」して下さい。

そういう方は、ご自宅でもカフェでも遠慮なくお呼び下さい。  
ご連絡いただければ、市内どこへもお伺いさせていただきます。

チラシに書いてある  
ことについて議論したい!

地域から  
帰ってきたばかりで  
何かできるんだ!?

☎ 070-5266-9624

✉ miyazu@t-nakashima.net  
📍 京都府宮津市小寺 897

連絡先

●1984年7月18日生まれ 29歳 / ●みずほ保育園～栗田小学校～栗田中学校～宮津高校 / ●近畿大学法学部卒業 大学在学中に、若者の政治参画を促すNPO 法人「プロジェクトE」の関西支部代表を務める。 / ●株式会社リクルート入社 / ●「HR 領域」 長野県本社企業の人材採用・組織活性化のお手伝い / ●「旅行領域」 奈良県・和歌山県の地域活性化・観光振興のお手伝い / ●地元宮津市に貢献したいという想いから、地域と向き合えるキャリアを一貫して選択してきました。 / ●趣味：マラソン(福知山・東京などのマラソン大会に出場)

Phone : 070-5266-9624 / mail : miyazu@t-nakashima.net / Website: http://t-nakashima.net/ address:〒626-0075 京都府宮津市小寺 897



私たちの「宮津」を誰もが住みたい、

行ってみたいと想える街に。

私自身が生まれ、育ち、暮らしてきた宮津。  
これから、妻と家庭を築いていく宮津。  
たくさんの大切な人が暮らしている宮津。

宮津は、山と海に囲まれ、歴史がある、穏やかで素敵な街です。  
こんなに素敵な街が、今、若者の流出・高齢化・産業構造の変化など  
様々な問題に直面しています。

この街で暮らしていく者の一人として、  
都会よりも、与謝野町よりも、「宮津市」に住みたい、  
行ってみたいと想われる街にしたい。

これが私の「志」です。

宮津の明日に責任を持つる政治。

将来世代の代弁者として、

人生を懸ける覚悟はできています。

就職活動の際、もっと力をつけたい、

宮津市に雇用を生み出す方法を知りたいと株式会社リクルートへ入社しました。  
配属希望地は、宮津と同じ課題を抱える地方を希望しました。  
長野県で4年働き、行き着いたのは、「観光」からの地域活性化。  
「旅行事業部」に異動届を出し、奈良県・和歌山県の観光振興に力を注ぎました。

私のこれまでのキャリアは、一貫して、宮津市の将来のためものです。

私の家系は、政治家を輩出している家でも、すぐにお金持ちの家でもありません。  
地盤・知名度・資金力など、私には一切ありません。

30年以上も宮津で暮らしていく私だからこそ、

将来に責任をもった、しからみのない政治をしていく責任があります。





私たちの「宮津」を、誰もが、住みたい！行ってみたい！と想ってもらえる街に行動を開始します。

「将来に責任を持つ政治」を意識して行動し続けます。

宮津市の現役世代の方々の頭張り、市の借金は少しずつ減っています。それは、公共料金の値上げや市の職員の給与カットなど痛みのある改革がもたらしています。痛みをともなった施策を続けていくことで、財政は健全化していくと思えますが、今後、さらなる公共料金の値上げに陥らないためにも、将来も健全な財政運営がなされるのか、将来世代も納得できる投資なのか、精査し、提言していかなければいけません。また、財源に余力がでれば、公的サービスの充実や観光に投資をして、定住・交流人口を増やしていくべきだと考えています。

これから挑戦したいこと



移住・交流による経済効果 (国、経済関係団体による試算の一例)	観光庁 定住人口1人の年間消費額=国内宿泊旅行者24人分の旅行消費額=国内日帰り旅行者79人分の旅行消費額に相当	長野経済研究所 団塊の世代夫婦(2人世帯)が移住して永住した場合、1世帯当たり1億3,000万円の経済波及効果
------------------------------------	---	--

<H12からH22の人口増減率と人口数> ※参照:H12・H17・H22実施の国勢調査

市町村	H22人口数(人)	増減率	人口増減数(人)
福知山市	79,652	-4%	-3,468
舞鶴市	88,669	-6%	-5,381
与謝野町	23,454	-8%	-2,139
京丹後市	59,038	-10%	-6,540
宮津市	19,948	-14%	-3,328

右記の表の通り、H12年からH22年まで、宮津市の人口減少率は、-14%と近隣市町村の中でもワーストクラスの減少率です。これ以上、人口の減少が進むと、次項に記載のある「私が感じている宮津市の課題」を悪化させ、ますます若者離れや高齢化が進みます。人口減少や高齢化は全国的な仕方のない現象ですが、近隣市町村よりも人口減少率を抑えることは、私たちの努力で出来ると信じて、行動を開始しました。

近隣市町村と比べて、宮津市は人口減少が進んでいます。

①医療・福祉・教育などの公的サービスを充実させ「住みたい」と想える街にすること。

②観光を通して宮津の良さを発信すること。

などの定住・交流人口を増やす施策を推進します！

宮津市の課題の多くは、人口減少と高齢化に起因しています。

移住する際に重要視することは、医療・福祉・教育などの「安心

してらさることのできる公的サービス」(※1)が1位との結果がある

ので、この分野に注力した政策を実施し、近隣に住んでいる人が羨

ましかる住環境を整えることが重要です。

若年層には、子育て・教育環境の向上など。シニア層には、持続

可能な高齢者福祉施策、及び地域福祉の強化・充実が必要です。

また、観光を通して宮津の良さをアピールすることで、外貨稼ぎはも

ちろんのこと、観光での交流をきっかけに、定住してくる人を増

やすことが大切だと考えています。

(※1)参考:長野県実施の移住・交流の推進に関する三大都市圏でのアンケート

私が感じている宮津市の課題

<教育>  
・生徒数の減少による学校の統廃合  
・学校の耐震

<産業>  
・農業、漁業の担い手不足  
・人口減少により域内消費の減少

<雇用>  
・クローバル化と宮津市の域内消費の縮小により企業誘致が難しい状況に

<市の財政>  
・高齢化の進展により社会保障費の増加  
・人口と事業所数の減少により、個人、法人市民税の減収

<観光>  
・年間270万人の観光者のうち、約8割が日帰り客。  
・滞在時間延長と域内観光を促進する方法。

<コミュニティ>  
・若年層減少により、地域行事の担い手減少  
・老人ホームに入居できないお年寄りの増加

まだまだ知らないことが多いので、色々なお話を聞かせていただけたら嬉しいです！